

事業報告書

1 支援団体名	縫ノ池湧水会
2 事業名称	縫ノ池湧水保全と地域活性化事業
3 実施日時	平成22年4月1日～平成23年3月31日
4 実施場所	佐賀県杵島郡白石町大字湯崎地内 縫ノ池
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容)*できるだけ詳細に 40年ぶりに復活した湧水を守り、縫ノ池を地域の憩いの場・交流の場にして地域の活性化を図る為の活動を地区内全員参加で実施している ・環境整備事業 湧水会やボランティア参加で池清掃や花いっぱい運動の環境整備を実施 ・広報活動 水環境団体の会議や発表会に参加して活動の紹介を行う 会員向けの湧水会だよりで活動報告、水質検査結果を掲示板で紹介 ・地域との交流会活動 湧水を使った茶会、子供たちを対象にした釣大会や池内の生物調査池の周囲にキャンドル並べて水面に映る景色で水環境の保全を誓う
	(事業実施効果) ・地区全員が会員の湧水会活動は参加も積極的で地域との交流も出来ており、多くの人の参加で地域活性化に向けた効果が表れている ・地域の子供たちを対象とした活動を増やして、縫ノ池の歴史や水辺での体験学習が出来て青少年健全育成に約立っている ・水の大切さ、自然との共存、自然環境の保全、歴史文化の復活、地域コミュニティの形成などの意識が向上してきた ・湧水復活は地下水を地表水に転換した表れで公共工事の必要性を再認識 ・活動の評価として佐賀環境大賞や手づくり郷土賞(国交省)を受賞
6 参加内訳	総人数 600～700名(水汲み者は約150名/日)
	(1) 主催者参加(役員は毎回20名が参加) 20名
	(2) 日本人参加((1)を除く) 600名
	(3) 外国人参加((1)を除く) 名
7 今後の方針	今後も湧水を守り、縫ノ池が憩いの場・交流の場になるような活動を続けて行きます、特に次世代を担う子供たちの参加できる水辺での体験学習を多く取り入れ、水の大切さや生き物を大事にすることを教えていきます。 縫ノ池が佐賀県遺産に認定され、訪れる人も多くなるので交流の機会を増やし、地域活性化や自然環境の保全の輪を広げていきます。

状況写真（地域の人達との交流、茶会）



状況写真（子供たちを集めて釣り大会）



状況写真（子供たちによる花いっぱい運動）



状況写真（キャンドルナイトで水環境を考える）



状況写真（地区の水路で生物調査）



状況写真（縫ノ池の環境整備事業）

